

労働局長がベストプラクティス企業を訪問しました

岩手労働局（局長 永田有）では、11月を「過重労働解消キャンペーン」期間として、長時間労働削減等の過重労働解消に向けた取組を推進しています。

11月29日に「過重労働解消キャンペーン」の一環として、岩手労働局長が、岩手県のベストプラクティス企業（ ）として株式会社長島製作所前沢工場を訪問し、「働き方改革」の要請、訪問企業から長時間労働削減等に向けた取組内容の紹介、工場の見学、職員との意見交換が行われました。

岩手労働局では、今後とも過重労働解消を始めとする「働き方改革」の取組を進めていきます。

ベストプラクティス企業とは、地域において長時間労働削減に向けて積極的に取り組んでいる企業をいいます。

企業（法人）の概要

法人名 株式会社長島製作所

所在地 本社 一関市東台14-34
前沢工場 奥州市前沢区字新城58-1
藤沢工場 一関市藤沢町黄海字天堤158

従業員数 145名（男性100名、女性45名）

事業内容 板金、溶接、プレス、金型

長時間労働削減等に向けた主な取組内容

- ・ 最新機械の導入
- ・ 業務効率化（YKI活動：Y＝やりづらい、K＝気を遣う、I＝イライラする を解消するための意見箱設置）
- ・ 有給休暇、半日休暇の積極的な活用促進
- ・ 教育研修制度の充実



前沢工場

お問い合わせ先：岩手労働局労働基準部監督課（電話）019-604-3006



厚生労働省岩手労働局

1 「働き方改革」の要請を行いました

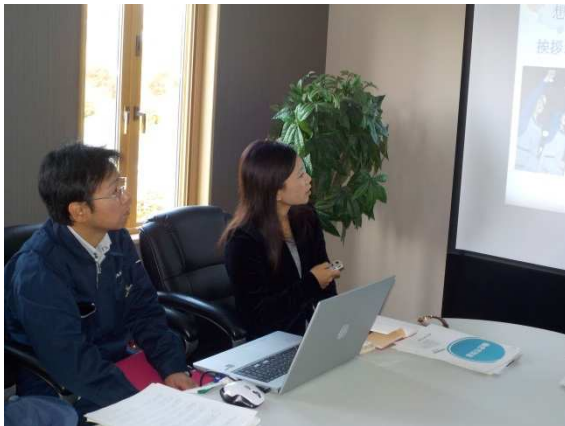


「働き方改革」の要請の様子

労働局長から新宮由紀子代表取締役社長に長時間労働削減等の「働き方改革」の要請を行いました。

労働局長から、「働き方改革」の必要性を説明した後、「働き方改革の実現」のためには、これまでの働き方を見直し、効率的な働き方を進めていくことが必要。トップ自らがその重要性を認識した上で、定時退社や年次有給休暇の取得促進等の取組を行うよう説明しました。

2 企業の取組について説明を受けました



取組を説明する様子

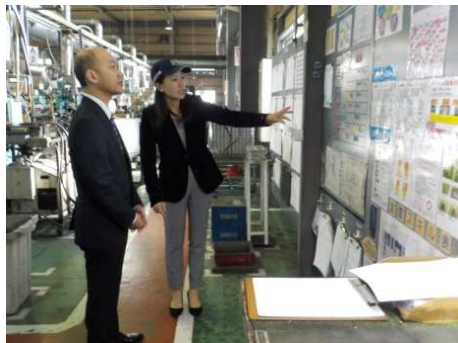
（株）長島製作所より、長時間労働の削減等のための取組について説明を受けました。

2007年からYKI活動を実施し、Y（やりづらい）K（気を遣う）I（イライラする）作業の改善の積み重ねや研修の充実、資格取得者へ資格手当の支給等による技能者・技術者の育成、最新機種導入による、作業の効率・省力化等により生産性の向上を図り、また、工場管理職2人を女性にすることによる相談しやすい環境づくり等に取り組み、平成29年度の1人当たりの平均残業時間数を前年度の半分の14.1時間に削減したとのことでした。また、残業削減分に配慮し、賞与や給与に還元する等の対応を行っているとのことでした。

さらに、同社の従業員の3割が女性という金属加工業には珍しい会社であるが、「女性が安心して働ける会社」、「子育てをしながらでも働きやすい職場環境づくり」が重要と考え、ワークライフバランスに目を向け、働きやすい職場を目指しているとの説明を受けました。

3 工場等を見学しました

最新機器を導入することで作業環境を変え、生産能力を高めたとの説明を受けました。
今後はAIを搭載するロボットを導入し、更なる生産性向上を図るとのことです。



機械熟知度を表すスキル表。個々のスキルの見える化により安全面やフォローの目安となる。



工場の見学の様子



YKI活動の説明を受ける様子

4 労働局長が職員と意見交換を行いました

（株）長島製作所で働く4名の女性職員から実際に働く中での感想を聞く等、労働局長と職員とで意見交換を行いました。

参加いただいた2児を育てる管理職の職員からは、「子育て中の従業員も多く、勤務時間内で終えようという意志が生産性の高い仕事につながり、男性社員にも影響を与えている」、「実際に女性職員たちの声を聞いたときに、半日休暇がたくさんあったほうがよいという声があり、それが制度に生かされており大変働きやすい環境である」とのお話をいただきました。

また、若手職員からは、「自分が子育てをする立場になった時この会社で働きたい」との発言がありました。



労働局長と所属労働者との意見交換の様子